


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		毎月第一週水曜日に全体会議を行い意識共有と目標達成に向けてのプロセスの確認を行っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		入社研修時にコンプライアンス研修を実施している。従業員がルールを守る意識を高め、社会人としての規範や人としての倫理観、責任感を養う事を共に考え順守している。																16	
	3	【公正な競争】 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		談合の禁止を徹底し、情報漏洩に努め公正な取引を行うよう従業員にも啓発している。										10						16	
	4	【組織体制】 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		(責任者:土木部長)は、土木事業が環境に及ぼす影響をモニタリングし、環境保護対策を策定・実施している。具体的には、建設現場での二酸化炭素排出量の削減に向けて、低燃費の重機の導入や、再生可能エネルギーの利用を推進している。(責任者:ICT事業部長)は、地域社会とのコミュニケーションを強化し、地域住民への説明会の開催や、社会貢献活動の実施を通じて、地域に根ざした持続可能な開発を推進している。																16	
	5	【知的財産保護】 知的財産の保護に取り組んでいる。	●		他社の技術を利用する場合、ライセンス契約の適切な締結を徹底している。特許権者からの許諾を得ることで、意図しない特許侵害を防止している。さらに、社内教育プログラムを通じて、従業員に特許に関する基本的な知識を提供し、日常業務において特許侵害を避けるための意識向上を図っている。							8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 個人情報を適切に管理している。	●		個人情報の収集については明確な利用目的を示し、第三者に情報を提供するには本人の同意を必ず得ており、管理を一元化している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		直接的・間接的に関わらず常に対話を重視とした相互協力関係の構築を目指している。														16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9							17
	11	【公正な貿易】 フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2										12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別的禁止】 性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		ハラスメント禁止を従業員に周知徹底し定期的に面談を行い心身の健康状態の把握に取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		業務前に当日の業務内容の確認を行い危険事項を洗い出し対策を講じている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		公認の税理士に入ってもらい公正な待遇になるように取り組んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		育児休業と介護休業、短時間労働の選択を就業規則に明記し常時閲覧可能としている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		職務や役割に応じた研修と各講習の受講を提供している。					4	5.5		8	9								
	17	【健康経営】 従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		全社員を対象とした年に一度の健康診断を会社負担にて実施し、希望者には人間ドックやその他追加検査の補助もやっている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		ベトナムから技能実習生を受け入れており、彼らの居住環境・職場環境の改善に常に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		全従業員にノートPCの配布及びウェブ会議の導入を行っている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		常に業界最先端を目指し、ICT機械やAR機器を導入作業の効率化を図っている。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 プライト企業に認定されている。	●						3	4			8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産廃許可を取得し適切な運搬及び処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		運行管理者の下、ガソリン使用量の把握を行い、配送先に合わせた確かな進路策定を行い燃料の削減に取り組んでいる。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを基に総排出量換算し、社用車のハイブリッド化の促進や電動スクーターの導入等で、前年度排出量の5%削減を目指し抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		社内のゴミは細かく分類、リユースとしサイクルに取り組んでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		段ボールや他資源ごみの収集運搬業を行っており資源の有効活用に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		社内の水栓をセンサー式の自動化にし節水に取り組んでいる。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		可能な限り再生用品を購入し使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		燃費基準達成モデルの建設機器導入など、最新の設備、装備を導入することでエネルギー効率の見直しを行っている。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		年に一度社内イベントとして海岸の清掃活動を行い、海に流れ込むゴミを事前回収を行っている。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		業務中の現場内での移動用に電動スクーターを導入しクリーンエネルギーの利用を推進している。										9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス

更新

事業者名: 株式会社 裕建

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		自社工事の際に想定されるリスクの洗い出しと対策を講じ、最新のICT機器での現場管理を行い品質の確保を行っている。			3.9							9		12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		工事現場内にてユニバーサルデザインを用いた仮設トイレ設置を行っている。										9.1	10	11.7						17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7							12.2	13.1			15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4								8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		年に2回組合を通じて地域の清掃活動に積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事務所内に防災グッズの常備及びハザードマップの提示を行い、避難ルートの確認を行っている。				4								11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●					1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●												9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●								4					8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●														8.5 8.6							17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●							2								8.6		10.2	12	13	14	15

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。